

日本の財政・金融について、正確且つ世界標準に基づく理解が必要であること。

ノーベル賞学者 スティグリッツ氏 シムズ氏 (昨年の経済財政諮問会議) 山本 前地方
創生担当大臣 嘉悦大学高橋洋一氏らが主張するように、

- 国のバランスシートは **統合政府 (政府+日銀)** でみるべきである。 日本の財政は
OECD7 か国中で良い方である (高橋氏)
日銀の資産である国債 400 兆は政府の債務 400 兆と相殺 (cancelation) される
スティグリッツ教授 (ノーベル経済学賞 昨年初 経済財政諮問会議)
- 国の債務の推移は、**純債務/GDP 比率**で政策的ウオッチするのが世界標準である
- そのうえでプライマリーバランスのフォローをすべきである。

安倍総理は上記を完全に理解されている (高橋氏) など。 自民党幹部、財務省幹部、 日
銀トップも

上記の理解なくして、国の政策を企画し、推進することなど、不可能のはずである。

つまり完全に理解されているはずと思われること。

従って

将来の我が国の財政政策 成長戦略策定にあずかる立場の方のみならず、一般有識者が
未来を展望するためにも、この際、上記認識を共有すべきと考えられる

即ち 内閣府などが上記を公的に発表すべきである。(毎年度 実績値として発表)

ご参考

最近 真山 仁氏著 「オペレーション Z 」 講談社

が爆発的に売れている由

官僚を主演者とし、日本国のデフォルトを想定 して、予算規模を 50% にカット
するとのシナリオの、社会の惨状を描く

日本の財政の基本を押さえているとは、とても言い難い

以上